

摘 要 書

[型わく支保工]

1. 設 置 期 間		2. 組立解体 作業主任者		氏 名	
				資格番号	
3 ・ 材 料 寸 法 等	(1)型わく			(4)支 柱	
	(2)根 太			(5)水平つなぎ	
	(3)大 引 き			(6)根 が ら み	
4 ・ 強 度 (強度計算書による詳細は別添)	(1)支柱の強度	イ. 最大使用荷重が指定されている支柱	指定されている許容荷重 (トン) [場所]	一本の支柱にかかる最大荷重 (トン)	
		ロ. 最大使用荷重が指定されていない支柱	支柱の許容座屈応力 (トン) [場所]	支柱の最大座屈応力 (トン)	
	(2)はりの強度	許容曲げ応力 (kg/cm ²)	はり支持物の構造(強度計算の別添)		
		最大曲げ応力 (kg/cm ²)			
5. 支柱の沈下防止措置 (詳細図は別添)					
6. 支柱又ははりの滑動防止措置 (詳細図は別添)		(支柱の脚部及び頂部の固定、根がらみの方法等)			
7. 支柱継手の有無及び方法 (詳細図は別添)		(継手の段数、方法、緊結具等)			
8. 水平つなぎの取付と緊結方法及び変位防止 (詳細図は別添)					
9. 曲面型わくの有無及び浮き上等の防止措置 (詳細図は別添)					
10 ・ 支 保 工 の 設 置 計 画	(1) 場 所	(2) 支 柱 の 種 類	(3) 支柱の高さ(m)	(4) 設 置 期 間	

注1. 1の「設置期間」は最初の型わくの組立てから最後の解体終了までをいう。

2. 3の「材料・寸法等」は具体的な材料名と長さ、巾、厚さ、径及びその数を記入すること。なお、JIS規格のものはその番号を記入すること。

3. 4に「強度」は最も不利な条件での値とその場所について記入すること。

4. 5の「支柱の沈下防止措置」は基礎が軟弱な場合に措置をすること。

5. 10の(1)の「場所」は1階スラブとか階段など具体的に書くこと。